

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	土木課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	130800
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	雨水貯留施設設置助成金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
②支出の根拠	関市雨水貯留施設設置助成金交付金要綱			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
③支出先	雨水貯留施設を設置する(申請者)			○(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			に対して
	手段	雨水貯留施設の設置費用の助成			を行うことで
	受益者	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			が(を)
	意図	設置費用の負担を軽減させることにより、降雨時における雨水の流出を抑制し、河川の増水防止を図る。			という状態にする
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	21 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	1/2
	36	29	25	250	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額		千円	H30歳出決算額		千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない		0 千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	補助率及び限度額も妥当である
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	適当である
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	周知不足の為、今後も広報等で周知を図りたい	事業補助は、有効であると考えている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	継続すべき	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業促進の為、市民や事業者へ広報・HP等を利用し積極的に周知を図っていく		

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	土木課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	129510
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	防犯灯管理奨励金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市防犯灯管理奨励金交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先			防犯灯を管理する自治組織		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				○(6)その他		
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	防犯灯を管理する自治組織			に対して	
	手段	維持管理費用の一部助成			を行うことで	
	受益者	防犯灯を管理する自治組織			が(を)	
	意図	市内の防犯灯の確保を図り、もって夜間における犯罪を防止し、及び公衆の通行の安全を図る。			という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	30 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○ その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	-	-	1,124	1,300	○ 単価を定めている→算式 1基/300円	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額		千円	H30歳出決算額		千円
				翌年度繰越額		0 千円
		H30歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	補助率及び限度額も妥当である
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	適当である
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	事業補助は、有効であると考えている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	継続すべき	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	助成継続期間の設定		